

# よっ葉だより

2024年  
3月18日号  
No.782

地産地消～いのちと健康



くらしを守る～

よっ葉生活協同組合

## 協同組合どうし 力をあわせています！

### 生協ネットワーク 21 定例会 報告

2月16日～17日、宇都宮市内で「生協ネットワーク 21」（ネット 21）の定例会を開催しました。ネット 21 は、理念や商品政策が近い生協のゆるやかなネットワークで、よっ葉生協を含めて 8 生協 2 事業連合が会員になっています。今回の定例会は、組合員理事の交流と視察研修（帰農志塾、那須烏山市）を目的に行われました。会員生協は、東日本はよっ葉生協、常総生協（茨城県）、自然派くらぶ（東京多摩、八王子）、ナチュラルコップヨコハマ、やまゆり生協（神奈川県）、なのはな生協（千葉、東京）あいこぷふくしま、あいこぷみやぎに、今回は東都生協（東京都）が参加しました。西日本は生協連合会アイチョイス（あいち生協、アイチョイス岐阜、一宮生協）、コップ自然派事業連合（近畿 6 府県、四国 4 県）が会員生協となっています。定例会のほか、商品の共同利用（'自然派 Style' シリーズなど）、生協の実務にかかわる職員の研修や交流など、「支え合い」に基づいた協同組合間協同の事業をおこなっています。

（報告）講演「急速に変わる食の生産 私たちの食の未来を考える有機農業・アグロエコロジー」

講師 OK シードプロジェクト事務局長 印鑰智哉さん



現在、世界では多方面の「危機」があらわになっています。人間が工業化を推し進めた結果、地球に負荷をかけ、生物絶滅、気候変動、社会の危機や健康の危機を招いてしまっています。これらの多重危機を解決していくために、地域の「食」を守っていく取組がこれから大切になってくるでしょう。

日本は食料自給率が低く、私たちの食べ物は多くを輸入に頼っています。「食の工業化」によって、肥料や農薬を多用して食料生産を増やすことができましたが、一方で、健康を損ね、遺伝子組み換え作物・食品、加工食品の添加物、ゲノム食品などを生み出していました。重イオンビーム（放射線）育種による低カドミウム米、肥料高騰を受けた下水汚泥利用など、消費者に納得のゆく説明がないまま研究や利用が進んでいる現実があります。

私たちが目指したいのは、工業化の対極にある、「アグロエコロジー」の考え方です。生産性と持続可能性、地域のタネ（在来種）の持つ遺伝的多様性を重視した農業、有機農業を広げていくことは、今の「多重危機」を解決することにつながります。



（帰農志塾代表の戸松正行さんと鶏舎の前で大集合）



今年の通常国会では、農業の憲法と言われる「食料・農業・農村基本法」が改定されます。また「不測時の食料安全保障」検討会も開始されています。「何を作り何を食べるのか」=私たちの食料主権を左右する法律なので、今後の動向を注視していく必要があります。

種苗はほぼ大企業の寡占なので、この 100 年で世界で 7~9 割激減していると言われていています。ブラジル、韓国、イタリア、アメリカなどでは、在来種を守る法律や条例、法案が作られ始めています。私たちが「何を作るか」「食べるか」を決定するために、例えば住民が有権者の 50 分の 1 以上の署名で、条例の制定を首長に請求することができます。千葉県いすみ市を端緒として近年活発になっている学校給食の「無償化」「オーガニック化」を求める運動は、市民自治による食の実現に大きな可能性を秘めています。市民が参加して政策を決定することでうまれる地域の連携は、さまざまな立場から関わることで広がることができます。

### グループワーク「これからの生協をどうしたいか」

講演会の後は、グループに分かれて、「これからの生協をどうしたいか」をテーマに自分たちの生協について紹介し合い、意見交換、情報交換を行いました。また各生協から持ち寄った広報紙（よっ葉生協は「よっ葉だより」）の交換も行いました。住む地域は違っていても、自分たちの生協や商品が大好きで、熱い思いをもって活動している組合員理事に会うことができました。（2日目の帰農志塾訪問は、4ページ下をご覧ください）

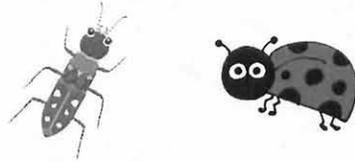
（理事長 三輪）

一天敵栽培では国内NO1の高知県よりー  
生きものと共に歩む

くらは4月1週 P4 コラボ

### “つくる人”“食べる人”“自然界”にやさしい「天敵農法」

4月1週くらは4ページでも書かれていますが、天敵農法とは、「害虫を天敵昆虫で抑える」ことです。この天敵農法の第一人者である、ピーマン生産者の「かめのご農園・岡本さん」を訪問した時の話を紹介します。岡本さんは都築さんへ天敵農法を教え、その都築さんは五嶋さんへ教えて天敵農法をつなげています。



#### ●天敵昆虫はどうやって手に入れるの？

購入する天敵に比べて野生の能力は3倍！？

実は天敵昆虫は販売されていて、その価格は種類にもよりますが一匹がおよそ50~70円とけっこう高いのです。そのため、岡本さんは天敵昆虫を飼育する専用のハウスまで作り、自ら増やしています。この天敵を生産者同士で貸し借りしながらリレーし、連携・協力をしています。天敵のリレーは全国的にも珍しいことです。

また、地域に存在する土着天敵を探しに、都築さん五嶋さんと一緒に40kmも離れたところに取りに行くことも。購入した天敵はハンティングを知らないのに対して、野生の天敵はハンティングが上手で、その能力は3倍以上と！

#### ●圧倒的な虫の知識と探求心 楽しみながら天敵農法を

岡本さんが天敵農法を始めたきっかけは、お父さんが農薬散布で体調を崩したことで昌子さんが小さい頃にアトピーだったことでした。

今では天敵の生理生態を熟知し、天敵昆虫の話になると熱心にかくさんのことを説明してくれました。天敵を飼育する専用のハウスには、10種類以上のバンカープランツ、20種以上の天敵が棲みます。「このハウスで兵力を温存しているんだよ」。暑い夏場は、天敵専用ハウスをリセットするため、昌子さんのお母さんは虫かごに天敵を入れて一緒に寝て、天敵を生かしているそうです。「天敵はすべて従業員だよ。天敵はめっちゃ楽しい。」とご両親。



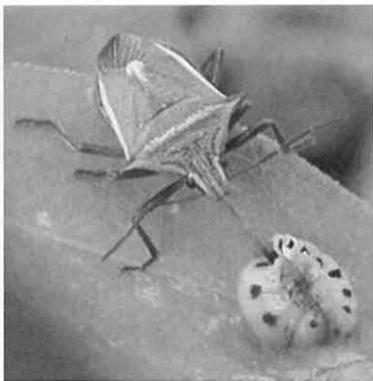
△かめのご農園・岡本さんご家族：後列向かって右が岡本昌子さん、左が旦那さんのマチュンさん、前列が昌子さんのご両親  
旦那さんのマチュンさんはフランス人。昌子さんとはワーキングホリデー中にオーストラリアで出会ったそうです。



△天敵昆虫や害虫のチェックにはルーペを使用します。



△都築さんと五嶋さんが今季から使用するナスの包材には、天敵栽培がわかるような図柄が書かれています。



<天敵昆虫のシロヘリクチブトカメムシは、ガの幼虫の体液をストローのような口で吸います>



<ナス生産者の都築さん>



<ナス生産者の五嶋さん>



(農産担当 加藤・菊池)



### 組合員さんの声



寒い日が続きます。1日の仕事が終わりゆっくりお風呂に入る時、本当に「ありがたい」と思います。同時に、能登の方々のことを思い、「これはあたり前じゃなくて、たまたま幸せなことなのだよ」と思い直します。寒空の中全てが足りないところで日々、逞しい生活に耐えられている方々、お辛いだらうと察します。どうか早くいつもの日常に戻れますように!!と願います。

(筑西地区 J・Sさん)

よつ葉だよりNO.778 香害読みました。合成品の香り全般に軽く嫌悪感があるのですが、特にボディーソープが気になります。使用時ではなく、ボディータオルに残った化学的な臭いで、リフレッシュしたいバスタイムで気分が悪くなり、生協での購入のみをしています。



(筑西地区 M・Hさん)

# NPO 法人 民間稲作研究会公開シンポジウム 「気候変動下における食の生産と消費を考える」



1 日目「食の本当の費用」とは？-永続可能な食料システムと小農・家族農業-  
池上甲一 近畿大学名誉教授・西日本アグロエコロジー協会 共同代表

ヨーロッパでは、産業主義的食農システムにおける本当の費用と隠れた費用の研究がなされている。日本では、隠れた見えない費用の算出はほぼされていない。

隠れた費用とは、実際に市場流通で得た金額（見えているところ）と経済的費用（食品ロス、廃棄、化学費用肥料の流出、農村福祉）環境費用（自然資本損失・地球温暖化ガス）環境費用（汚染・残留農薬・抗生物質・栄養不足・肥満）などで利益と損失を算出すると、決して利益になっていない現実があります。増々大きくなっているのが、異常気象による生計への影響、生態系、アマゾンの森林サイクルの破壊等もあります。

永続可能な食農システムを確立するのに、産業主義的食料システムが有効かという見方があります。現行の産業的食農システムは、エネルギーと資本を多投した工業的生産で、利潤の効率的極大化をめざした資本主義的生産であると指摘しています。

この間引き起こしている問題は、

**産業的食農システムは永続可能か**

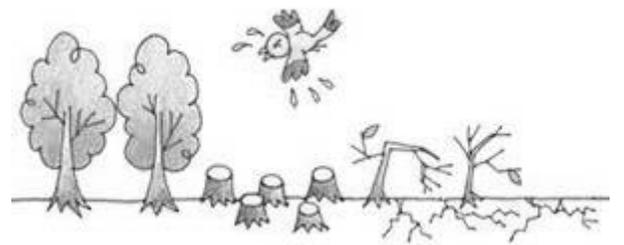
FOLUや  
FAO

ところが、  
産業的食農システムはさまざまな問題を引き起こした

飢餓・栄養不足を克服できなかった 格差を拡大した：**社会的不公正**  
エネルギー多投による地球温暖化・気候変動を促進した：**気候危機**  
農地開発、化学農薬などが生態系を破壊した：**生物多様性の危機**  
土壌流亡・化学肥料が農地の肥沃度を減退させた：**土壌と地力の危機**  
不健康な食生活を広げた とくに肥満と痩せ：**健康の危機**

永続可能な社会に反している

産業的・工業的農業の急速な発展による結果と言えます。



## 産業主義的食農システムをのりこえるために

### 広がる食農システム転換必要の認識

- ▶EUの「食卓から台所まで戦略」(F2F戦略) 目標年次2030年  
農地の25%を有機農業、化学農薬の使用50%削減  
肥料使用量20%削減、土壌養分の損失50%削減  
畜産と養殖の抗菌性物質の50%削減
- ▶アメリカの「農業イノベーションアジェンダ」 目標年次2050年  
農業生産量40%増加、環境フットプリント半減
- ▶日本の「みどりの食料システム戦略」  
目標年次2050年 中間目標2030年
- ▶世界経済フォーラム、国連食料システムサミット(2021年)

この講演から私たちが学びとることは、現在の食農システムは一見食の安定供給を続け、不自由なく手にいれていると思いたいが、見えずらいところへの影響・被害がでてきているということです。特に近年、温暖化 CO2 削減など地球環境への影響が問題にされていますが、化学的工業による負荷と同じように食農システムによる問題も大きいといえます。自然環境に負荷をかけない農業（土壌の力を引き出す）、単一作物の大規模連作による多量の農薬・化学肥料投入による土の劣化・流土など数年の経過による結果は、繰り返しのよって問題が蓄積されている現状が今だといえます。

地球規模での災害を個人の考え、行動で何とかできるのかという限界を感じますが、講師の池上さんは、まず現実を知ってほしいと言います。

身土不二・地産地消は人間が食を手にする行動範囲と長く続いた食の基本であると思いますが、手にすることが困難だった時代と、簡単便利になんでもすぐ手に入る今、100 数十年のこの動きを進化としてとらえるのか、地球環境を回復させる時間をあたえなかったのか。今、考える時だということ強く感じた内容でした。この課題を解決する方法、考え方としてアグロエコロジー（農業と生態系）による社会づくりが世界的にも提唱され、日本でも動きつつあります。

(顧問 富居)

### 「小農・家族農業」の理解

- ☆小農：「農的活動」の主体 } 小農・家族農業
- 家族農業：農業形態
- ・農業の面からは、経営規模の大小ではなく、その行動様式と原理こそが重要  
利潤追求よりも、**家族(と地域)の永続性の確保をめざす主体**
- ☆小農・家族農業の柔軟性、多様性：農的活動は農業だけにとどまらない  
日本ではとくに「ただの仕事」が重要 村仕事 水回り 草刈り 寺社
- ・小農は「大地の人びと」で **地域=生活=文化と環境・生態系を維持する主体**  
(Edelman, 2003)
- ☆小農・家族農業を狭い範囲(家族経営体)に閉じ込めようとする政策的動き  
には注意が必要 「中核的兼業農家」「自給的農家」「兼農・複業」

# ネットワーク21の全国の仲間と帰農志塾を訪問しました！

2月17日(土)ネットワーク21の定例会の2日目に、帰農志塾を訪問しました。帰農志塾は那須烏山市にあり、野菜を中心に環境保全型農業野菜を出荷しています。研修生の受け入れも行っており、有機農業への就業希望者が安心して研修ができる環境を提供しています。

落ち葉さらいで集めた落ち葉で翌年の育苗用の土づくりを行い、踏み込み温床をつくって育苗をしているところや、できる限りプラスチックを使わない取り組みについてなど見学しました。野菜を育てていない時期の畑には雑草が生えないように、ビニールハウス用の頑丈なビニールを敷き、土地の温度を上げて農薬を使わずに雑草が増えないよう工夫されていました。ビニールは何年か使える頑丈なものを使うことで、プラスチックのゴミも増えません。他には養鶏を行い、鶏糞を使った自家製の堆肥づくりも行っています。環境保全型農業は手間がかかりますが、自然の力を最大限に利用した農業です。「安心して食べられる野菜を提供したい」との強い想いを感じとれる温かい産地を全国の仲間と訪問でき、貴重な一日となりました。

※よつ葉生協のInstagramでも当日の様子をライブ配信しました。アーカイブも残しておりますので、是非お時間ある方は御覧ください。畑の様子や帰農志塾代表の戸松さんのお話も直接聞けてとても充実した内容になっています。(副理事長 横山)

## とちぎわんぱく公園 夢花壇



春の夢花壇には、チューリップなどの色とりどりの花々が咲き誇ります。見頃は、4月上中旬頃。春の訪れを感じる夢花壇に、ぜひお越しください！

【問い合わせ】  
とちぎわんぱく公園  
下都賀郡壬生町大字国谷 2273  
TEL 0282-86-5855



「くらら」でも隔週案内の「帰農志塾の畑まるごとセット」是非食べてみてください！  
くらら4月1週 **52**★★でご案内♪  
プラスチックフリーの野菜詰め合わせセットです



(踏み込み温床でセロリの苗を育苗中です)



ご意見・ご感想をお寄せください。お名前と組合員番号をご記入の上、共同購入注文書またはお手紙でお願いします。掲載の方には粗品をプレゼントいたします。※掲載するにあたって事前ご連絡をすることはありませんので、ご了承ください。

### 新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金報告 (3月1週分)

ご協力ありがとうございます。  
組合員さんの助けあいの気持ちが広がっています (単位:円)

|                    |              |
|--------------------|--------------|
| 栃木コロナ支えあい基金 (860番) | 1,600        |
| 茨城誰かのために募金 (862番)  | 300          |
| <b>合計</b>          | <b>1,900</b> |

共同購入注文書の該当番号に数量をご記入ください。WEB注文の場合は、左側【企画商品・募金】内の【募金関連】をクリック。一口100円の募金になります。

### 東日本大震災・東電原発事故での支援金 募金報告 (3月1週分)

ご協力ありがとうございます。  
組合員さんの温かいお気持ちが今週も寄せられています (単位:円)

|                      |               |
|----------------------|---------------|
| 放射能から子どもを守る募金 (900番) | 4,100         |
| 震災孤児を支援する募金 (910番)   | 24,000        |
| 「有機農業と国産種子」募金 (920番) | 9,700         |
| <b>合計</b>            | <b>37,800</b> |

共同購入注文書裏の「10品以上の記入欄」に該当番号と数量をご記入ください。WEB注文の場合は、左側【企画商品・募金】内の【募金関連】をクリック。一口100円の募金になります。

## 文化イベント情報 ■各イベントのお問い合わせは、直接主催者または連絡先にお願いいたします。

**那須塩原**  
**ドキュメンタリー映画「決断」** 監督 安孫子 亘  
日 時：4月5日(金)～18日(木) 1日2回上映(時間は未定)  
6日(土)7日(日)の日中の部終了後、監督の挨拶があります。  
会 場：フォーラム那須塩原(栃木県那須塩原市豊浦12-1)  
料 金：前売り券・シニア1200円  
一般1900円 学生1500円 高校生以下1000円  
内 容：日本の各地に自主避難した福島原発事故被災者10名の姿を7年の歳月をかけて撮影したものです。主に子どもの健康を気遣って福島を離れた方は数多く、手荷物をまとめ、遠くに移り住みました。「自主避難者」は援助もほとんどありません。フクシマはまだまだ終わっていない。この映画はそのことを私たちに伝えてくれます。  
問合せ：今岡 TEL 090-8174-7257

●編集・発行よつ葉生活協同組合 小山市栗宮1223  
☎0120-07-1613 TEL 0285-45-9100 FAX 0285-45-9101  
HP <https://yotsubacoop.jp/> メールアドレスが変わりました。  
よつ葉だよりメールアドレス [yotsubadayori@yotsuba-coop.jp](mailto:yotsubadayori@yotsuba-coop.jp)

